

1. 地理歴史科の目標

わが国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き、平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

2. 世界史Bの目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3. 履修区分：1 学年必修

4. 単位数：3 単位

5. 教科書および補助教材： 新詳世界史B（帝国書院）、世界史詳覧（浜島書店）、世界史重要語 Check List（啓隆社）

6. 授業方法・形態：教科書、資料集、要点ノート中心にその他資料を多面的に活用し、プリントやノートにまとめていくことで理解を図る。また必要に応じて課題学習に取り組み、まとめ、発表するなど様々な学習活動を取り入れる。

7. 評価規準

- 関心・意欲・態度：歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。
- 思考・判断・表現：歴史的・地理的事象から課題を見出し、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。
- 資料活用の技能：歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
- 知識・理解：我が国および世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。

8. 評価

試験（定期考査・実力テスト）、授業態度（マナー、意欲・態度）、提出物（ノート、プリント、課題）などから総合的に判断して行う。

学期	月	章	学習内容	時数	学習目標	備考
1 学期	4	世界史へのとびら	1 日常生活に見る世界史 2 世界史の中の空間 3 世界史の中の時間 4 世界史の中の日本	1	身近なものや日常生活の中から、また日本の歴史との関わりから世界史を考えさせ、学習への意欲を高める。	中間テスト
		序章、人類の出現	・各文明の成立背景を理解し、世界的役割を考える	2	・文明が成立する過程を文化の発展から理解させる	
		1. オリент世界と地中海世界	・オリент地域、地中海世界の成立過程、ギリシャ・ローマ文化の特質を学ぶ	6	・オリент地域、地中海という文化圏を学ぶ	
	5	2. 南アジア世界の形成	・東南アジアへの宗教の伝播と国家の関係を考える	4	・中国とインドの影響を受けつつ独自に発展していることを理解させる	期末テスト
		3. 東南アジア世界の形成		2		
		4. 東アジア世界のあけぼの	・文明史的視点から東アジア像を考える・中国王朝のモデルが秦漢帝国によって確立されたことを理解する	6	・東アジア世界の特色を各方面から理解させる・秦漢統一に至る漢民族世界の拡大に注目する	
	6	5. 中央ユーラシア世界の形成と展開	・中央ユーラシアの環境と社会、遊牧民の国家と興亡	3	・東西交流の人・物・文化の流れと影響について考える。	期末テスト
		6. 東アジア世界の変動と再編	・唐と宋の時代の違いを学ぶ。モンゴル帝国の役割を学ぶ	6	・宋の成立やモンゴル帝国の成立要因を各方面から理解させる	
	7	7. イスラーム世界の形成と拡大	・イスラーム教の成立過程やイスラーム国家の独自性を学ぶ・イスラームの商業ネットワークを学ぶ	4	・イスラーム教の成立とその共存システム、イスラーム帝国成立による東西交流を理解させる	中間テスト
	2 学期	9	1. アジア地域の栄華と成熟	・アラブ→トルコ・イラン系へと担い手が変化することを理解する	5	・異民族王朝・清のもとで皇帝政治が成熟したことを理解させる
・中国を中心とした冊封体制の意味と影響力を学ぶ				3		

	ヨーロッパ世界の形成 2. 大規模な分業体制の成立	・中世ヨーロッパ世界の概念や宗教社会を学ぶ	8	・中世封建社会の特質を社会組織に絡めて理解させる	
	10 3. 西ヨーロッパの覇権争い。世界的な分業体制の拡大 アフリカ・アメリカの王国形成	・初期資本主義の成立過程を考える・絶対主義国家の政策を学ぶ・封建→近代の過渡期であることを学ぶ・アフリカ、アメリカ大陸で独自に発達した諸文明を学ぶ	8	・新航路開拓と通商・植民活動により変化した社会と経済構造を理解させる・第三世界の諸文明の発達に着目し、その発達過程を理解させる	期末テスト
	11 4. アメリカとフランス革命 産業革命	アメリカ独立戦争の過程と憲法について学ぶ	2	・革命を通じて近代国家に成長していく過程と意義を理解させる	
		・仏革命の原因、過程と革命後の動き、ナポレオンの活躍について学ぶ	3		
		・産業革命とその問題について理解する	2	・産業革命が起きる必要条件を考えさせる	
	12 5. イギリスの覇権と欧米の国民国家建設	・市民革命を通じて誕生した自由主義と国民主義について学び、各国における二者の影響を理解する	4	・「1848年」の分水嶺に留意しながら、独立国の自由主義と被支配国の国民主義について理解させる	学年度末テスト
	アメリカ合衆国の拡大	・19世紀の文化を前世紀の文化と比較しながら学ぶ	2		
3学期	1 6. 世界の一体化の進展とアジアの変容	・列強諸国の植民活動と東南アジア地区の動きを見る・アジア・アフリカ諸国の改革運動を学ぶ	4	・植民地化の過程と南アジアと東南アジアの状況・抵抗を理解させる	
		・アジア各地の抵抗運動を概観する	3	・産業基盤にそぐわない西欧化を推進したことを理解させる	
	1. 世界の一体化の完成とその影響	・列強諸国が海外に進出した理由を学ぶ・反植民地・反帝国主義の指導者らの動きを見る	3	・帝国主義誕生の歴史的背景を理解させる・アジア諸国での民族独立運動と国家形成の動きを理解させる	
	2 2. 世界大戦の時代	・ヨーロッパ列強の動き、アジアの視点を取り入れて概観する	5	・世界大戦と呼ばれる意味を考えさせる・ロシア革命の状況と国内外の状況を理解させる	
		・ソビエトの発展とその崩壊について学ぶ・国際連盟の役割やアメリカ合衆国の役割を見る	5	・ヴェルサイユ体制下における平和と国際協調を考察させる	
		3. ファシズムの台頭と第二次世界大戦	・世界恐慌とファシズム勢力の台頭を学ぶ・列強の影響力低下による東・南、西アジア各地での民族運動を学ぶ	3	・世界恐慌がヴェルサイユ体制を揺るがしたことを理解させる
		・戦争の悲惨な結末とその後の冷戦の芽に着目して概観する	3	・この大戦が国際対立の帰結として到来したことを理解させる	
	4. 東西冷戦から多極的国際社会へ	・終戦後の米ソの関係と集団安全保障体制について学ぶ	3	・米ソの対立が世界的に広がっていく過程と構造を理解させる	
	3 5. 相互依存を深める世界	・多極化する中で、アメリカが主導権を握り続け、一極化されていく世界を概観する・現代世界の動向を中心に学ぶ	3	・冷戦構造の破綻、社会主義世界の変容、勢力の台頭を理解させる・戦争の危機は今尚消滅していないこと、技術と「核」の関係を考えさせる	
		6. 授業のまとめ	・現代世界の動向を中心に学ぶ	2	・戦争の危機は今なお消滅していないこと、科学技術と「核」の関係を考えさせ、1年のまとめとする。

計 105 時間